

## 12月定例議会始まる 11/30~12/15

12月定例議会が11月30日から始まりました。1日目に市職員の給与引き下げについての議案を審議し、賛成多数で可決されました。小林真美子議員は「大震災の被害が大きい日立市で、人事院勧告にそった給与改定は地域に悪影響を及ぼす」などと反対しました。

小林真美子議員は5日(月)に一般質問、7日(水)議案質疑をおこなう予定です。ぜひ、議会傍聴に行きましょう。

### 12月定例議会日程

- 11月30日(水) 開会
- 12月 5日(月) 一般質問
- 6日(火) 一般質問
- 7日(水) 議案質疑
- 8日(木) 常任委員会
- 9日(金) 常任委員会
- 12日(月)~13日(火)  
特別委員会
- 15日(木) 討論・表決・閉会

### 一般質問

- 5日(月) 午前 石井 仁志議員  
白土仙三郎議員  
小林真美子議員  
伊藤 智毅議員
- 午後 三代 勝也議員  
塚田 明人議員
- 6日(火) 午前 黒澤 信弘議員  
大庭 弘美議員  
薄井 五月議員

### 小林真美子議員の一般質問 5日(月)午前10時45分頃

- 1、福島原発事故後の子どもの健康調査について
  - (1) ホールボディカウンターでの検査について
  - (2) 尿検査について
- 2、地産地消の推進について
- 3、大地震予測に対するの研究と防災意識について
- 4、東海第2原子力発電所の再稼働について



12月議会での小林議員の一般質問内容をご紹介します。

## ホールボディカウンターでの子どもの健康調査を！

**小林議員** 福島県は、福島原発事故での住民の健康不安の解消を目的に、ホールボディカウンターによる放射線内部被ばく検査を実施しました。ホールボディカウンターは、体内にとりこんだセシウム137などの放射性物質を、イスに5分間静止して測定するものです。3月11日に住民登録などがあった妊娠中の人、3歳以下の乳幼児の保護者、4歳から小学6年生までの子どもを対象に、8月31日に検査申し込みを受け付けて、10月から、東海村にある日本原子力研究開発機構で検査をしています。

隣接する県北地域で市が率先して、ホールボディカウンターを購入するか、そうした検査ができる機関に依頼して、検査を希望する方の健康調査をおこなっていただきたい。

また、じっとしていられないためホールボディカウンターでの検査が難しい就学前の乳幼児の尿検査を市で支援していただきたい。

**國井保健福祉部長** 放射線による全身の内部被ばくを測定する装置であるホールボディカウンターの県内設置状況は、東海第2原発に2台、県指定の二次被ばく医療機関水戸医療センターに1台、県立中央病院に2台、その他東海村の日本原子力研究開発機構の研究機関等に設置されています。このように、ホールボディカウンター検査は専門の医療機関等において主に緊急被ばく時に活用されるものであり、本市が単独で実施する状況にはないと考えています。

市内も、小さなお子さんを持つ保護者の中には、内部被ばくへの不安を抱える方々がいらっしゃることは、十分、認識しています。

最近の動きとしては、県内の複数の団体が県に対して、子どもや妊婦を対象にした健康調査を実施して欲しいとの要望をおこなっています。それに対して、知事は先月29日の定例記者会見で「県民に対する放射線の健康調査については、福島県の例や専門家の意見を踏まえても、現時点では実施すべきだという意見には至っていない」と説明されています。

本市といたしましては、早くから、水道水の放射能濃度や空間における放射線量を公表しており、加えて、今週からは市民の方々が持ち込む食品や井戸水等の放射能を測定及び公表し内部被ばくに関する不安解消に努めてまいります。

ご提案の、子どもたちへの放射線の健康影響調査等については、県と十分に連携しながら対応を検討してまいりたいと考えています。



## 尿検査とは？・・・小林議員質問についてのコメント

尿中の放射性物質を測定する会社を、インターネットで調べたら3社ほどありました。そのうちの1社は、子どもの尿20cc、または、紙オムツに含んだ尿から、検査機器でセシウム137等の放射性物質を測定、検査費用は2万4千円かかるそうです。

食品などから体内に取り込まれてしまったセシウム137は、日本人の場合、約90日、乳幼児の場合はもっと短い期間で、代謝や排泄によって減っていきます。早い時期での検査と対策が求められます。

日本共産党は、福島県の全住民を対象とした健康調査や、食品の暫定規制値を厳しくすることなどを、国に求めています。

小林議員は党議員団とともに、茨城県に対して、ホールボディカウンターによる健康調査を県内市町村で実施するための支援を要望しています。

### 11月5日NHKニュースより

東京電力福島第一原子力発電所の事故で、福島県南相馬市の乳幼児が放射性物質を体内に取り込む内部被ばくをしていないか、尿を検査したところ、7%の子どもから放射性セシウムが検出されました。検査を行った会社では、健康に影響が出るような内部被ばくはなかったとしています。

福島県などが行っている内部被ばくの検査は、ほとんどが専用の装置で姿勢を維持できる小学生以上を対象にしていることから、福島第一原発に近い地域では、検査を受けられない乳幼児のいる家庭から不安の声が上がっています。このため、東京の医療コンサルタント会社「RHCジャパン」は、南相馬市内の6歳以下の子どもを対象に、尿に放射性物質が含まれていないか検査しました。その結果、これまで分析を終えた1500人余りのうち、7%に当たる104人から放射性セシウムが検出されました。ほとんどは検出限界を僅かに超える1リットル当たり20から30ベクレルの範囲で、最も値が高かったのは1歳の男の子で187ベクレルでした。生涯に受ける放射線量は最大でも0.37ミリシーベルトと推定されるということで、検査を行った会社では、健康に影響が出るような内部被ばくはなかったとしています。今回の結果について、放射線医学総合研究所の明石真言理事は、「検証が必要だが、一つの目安にはなる。チェックを受けた食品をとれば今後も被ばくが大きく増えることはないと思う」と話しています。

## 日本共産党

### 東海第2原発廃炉を求める街頭署名活動にご参加を

日 時 12月9日（金）午前10時～（1時間半の予定）

場 所 日立駅前（中央口側）

\*雨天中止

12月議会での小林議員の一般質問内容をご紹介します。

## 地元の農水産物を食べたい・・・地産地消の推進で！

**小林議員** 放射能汚染の暫定規制値を超える牛肉が市場に出たり、安全宣言をしたコメから暫定規制値を超えるセシウムが検出されたりして、消費者の信頼を損ねてしまいました。国は、食品の検査頻度と検査品目を増やすなど、安全対策と消費者への信頼回復に、もっと、力を入れるべきです。

日立市は、地域でとれたものを、地域で消費する「地産地消」を、イベントや直売所などで推進してきました。東日本大震災の被害や、福島原発事故での実害、風評被害で、農漁業や地域経済は、たいへん厳しくなっていますので、「地産地消」の取り組みを、これまで以上に力をいれていただきたいと思います。福島原発事故後の地元農水産物の安全PRや「地産地消」の推進について、その取り組みをお伺いします。

**豊田産業経済部長** 福島原発事故後、県内産の農水産物の出荷時期に合わせ、県が放射性物質のモニタリング検査をおこなってきました。暫定規制値を超えたものについては、県市が協力し、速やかに農協や小売店などに情報提供し、販売の自粛や商品の回収などの要請し、規制値を下回ることが確認されるまで出荷自粛等の要請をおこなってきたところです。

規制値を下回り安全性が確認された農水産物は、農協や漁協が中心となり、従来からのイベントばかりでなく、今年新たに市内外で開催された復興イベントなどにも積極的に参加し、安全性のPRに努め、地元の方々に対しても安心してお買い求めいただけるよう広報活動をおこなってきました。市としては、今後、県が公表する検査結果について、市報等に定期的に掲載することなども検討し、安全性のPRと地産地消の拡大に努めたいと考えています。

**小林議員** 原発事故賠償金が昨年の収入を取り返すものにならないなどで、「泣き寝入り」するしかないという声を聞いています。有機栽培や低農薬の農家は「農薬を使わないように苦労してきたのに、今までの苦労は何だったのか」と、生き方そのものに、影を落としています。

私たち消費者は、外国からはいつてくる、収穫後に農薬をかけた野菜を食べるより、地元でとれたものを食べたいのです。しっかり検査した安全なものであることをアピールする機会をつくり消費者の信頼を広めていただきたい。

## 日本共産党 小林まみ子 市政報告会のご案内

日時 12月25日(日) 午後1時30分～3時

場所 日立シビックセンター102号室(1階トイレの奥です)

市役所本庁舎や、中央体育館など、建て替えの計画は？日立バイパスなどの道路工事は？  
小林まみ子議員が市政報告をおこないます。皆様のご意見を、ぜひ、お聞かせください。  
ご参加をお待ちしております。(参加費は無料です)

12月議会での小林議員の一般質問内容をご紹介します。

## 東海第2原発再稼働について市の考えは？

**小林議員** 東海第2原子力発電所は、東日本大震災で自動停止して以来、11月の再稼働予定を延期しての定期検査のため、現在、稼働していません。検査は来年8月に終了します。

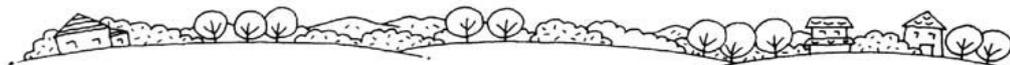
東海第2原発は1978年11月に運転を開始し、33年が経っています。21回の定期点検以来、点検箇所が6ヶ月もの長期間かかるほどのものとなり、「シュラウドサポート」に40箇所のひび割れがある老朽施設です。今回の定期検査では、地震の揺れでできたとみられる蒸気タービンの羽根の傷や、固定ボルトの緩みなどが見つかっています。

「大きな地震は起きない」としてきた茨城沖ですが、東日本大震災であわや、福島原発事故と同じになるどころでした。東海第2原発から20km圏内には71万人の住民がおり、30km圏内には100万人が暮らしています。原発周辺の人口密度では国内一です。安全への保障がないまま、検査が終わったからといって再稼働をするのは、許すことができません。私は、東海第2原発を廃炉にすべきと考えます。

東海第2原発の再稼働について、市の考えをお伺いします。

**梶山総務部長** 施設の再稼働については、今後、ストレステストなど再稼働に向けた手続きの中で、施設の安全性などについて国の判断が示されるものと考えています。

ご質問の、再稼働に関する考え方については、それらが明らかになった段階で、県及び周辺自治体の動向、エネルギー問題や経済的な影響なども考慮しながら、検討していきたいと考えています。



### 東海第2原発の再稼働の是非などを話し合う

#### 懇談会設置へ

東海村は、東海第2原発の再稼働の是非などを周辺自治体と話し合う懇談会を来年1月に設置することを表明しました。

再稼働の判断に必要なのは従来、立地している東海村と県の意見のみですが、福島第1原発事故で立地自治体を超えて大きな被害が出たため、東海第2原発も広域で対応を考える必要があることから。

懇談会は首長で構成し、事務局は東海村に置くことにしています。

### 東海第2原発関連のニュース記事より

#### 東海第2原発再稼働について 那珂市で市民アンケート

那珂市で、東海第2原発の再稼働について賛否を問う市民アンケートを実施する考えを明らかにしました。海野市長は、東海村が設置する懇談会において、このアンケート結果を判断材料とする考え。

## 日立市議会是不採択に！

「住民合意のないままに

東海第2原子力発電所の再稼働を認めないことを求める請願書」

小林議員が紹介議員となり新日本婦人の会日立支部が日立市議会に出した「住民合意のないままに東海第2原子力発電所の再稼働を認めないこと」について国に意見書を出すことを求めた請願書は、総務委員会で全会一致で不採択となり、意見書を送ることができませんでした。総務委員長の報告によると「代替エネルギーの議論なく廃炉にするのは産業界に打撃が大きい」などの意見が出されたということです。新日本婦人の会日立支部では日立市議会の全議員に廃炉を求める請願書の紹介議員の要請をしていました。

東海第2原発の廃炉を求める意見書は、9月に取手市議会で、12月に北茨城市議会で採択されています。

また、茨城大学地域総合研究所が、東海第2原発の再稼働などについてのアンケート調査を施設周辺自治体で実施後、水戸市民への住民アンケートを実施し、「廃炉に向けた準備を」が34%、「耐震・防潮対策を徹底するまで運転再開すべきではない」が40%、「再稼働は凍結して白紙から議論すべき」が15%と、約9割の人が再稼働慎重意見だったと発表しました。11月に「東海第2原発の廃炉を求める署名」5万1千4百35筆が市民団体が県に提出したり、廃炉を主張する東海村村上村長に周辺の市長が賛同を表明するなど、世論は再稼働を認めない方向に大きく動いています。

「住民合意のないままに

東海第2原子力発電所の再稼働を認めないことを求める請願書」(要約)

福島第1原子力発電所が過酷事故をおこし、今だ、収束の見通しがたっていません。ふるさとに帰れない人、高い放射線の中でおびえながら暮らす人、先祖からの農地を手放さなければならぬ人など、どれだけ多くの人々が苦しんでいることでしょうか。

東海第2原子力発電所は、津波があと少し高かったら、電源を全て失い、福島第1原子力発電所と同じような深刻な事態になるところでした。私たちは、もう、原発事故を心配しながら生活するのはいやです。住民の安全を最優先に考え、そして、未来をにやう子どもたちに、安心と希望を保障するために、東海第2原子力発電所の廃炉を求めます。

(請願項目)

- 一、 住民合意のないままに東海第2原子力発電所の再稼働を認めないこと。
- 一、 東海第2原子力発電所を廃炉とする検討を開始すること。

## 日本共産党 小林まみ子 市政報告会のご案内

日 時 12月25日(日) 午後1時30分～3時

場 所 日立シビックセンター102号室(1階トイレの奥です)

参加費 無 料

小林まみ子議員が市政報告をおこないます。皆様のご意見を、ぜひ、お聞かせください。